

Joby-Toyota Japan Premiere Flight JoeBen CEO スピーチ

皆さん、この素晴らしい場に立てたことを大変光栄に思います。また、私たちが共に成し遂げた進歩を祝うために招待して下さった主催者のトヨタに感謝いたします。

今日は天候に恵まれませんでしたでしたが、ここ数日、私たちのチームはまさにこの空の上で、何度となく公開飛行(エキジビション)を成功させてきました。これはジョビーが米国以外で初めて実施した飛行であり、私たちの旅における素晴らしいマイルストーンとなりました。

高速でクリーンかつ静かな航空機の開発は、私にとって長年の夢です。カリフォルニア州サンタクルーズのセコイアの森で育った私は、毎日数キロを歩いて学校に通っていました。長い道中で、新しい移動手段を思い描くようになりました。それは、私たちが暮らす素晴らしい環境を守りながら、空を高速かつ静かに移動できるものでした。

2009年、私はその夢を実現するために Joby Aviation 社を設立しました。そして今日、この背後に見える機体とともに、航空産業における次の大きな革命の始まりに立っていると信じています。

私とトヨタの関係は皆さんが思うよりもずっと早いもので、1991年に初めてのクルマとして青いトヨタのトラックを購入しました。

そのトラックを選んだのは、トヨタが世界で最も信頼性が高いと評判だったからです。何年もこのクルマを愛用しましたし、Joby 設立のために集まった数名のエンジニアにとっても大切な相棒でした。

現在、Joby のスタッフは 2,000 名を超えましたが、そのトラックは今でも Joby の周辺を走り回っており、走行距離は 20 万マイル近くに達しています。

トヨタから最初に迎え入れた幹部の一人が友山茂樹氏で、彼はカリフォルニアにある当社の機体を見るためにやって来ました。その後、日本での豊田章男氏との会合が続きました。会合では、これは時代を超えたパートナーシップになるとすぐに確信しました。

豊田さんは、祖父が抱いていた空への情熱と、世界で最も信頼されるモビリティサービスプロバイダーになるというビジョンについて説明してくれました。それ以来、私たちはそのビジョン実現に向けて共に歩んできました。

トヨタはこれまでに何度か Joby に投資してきましたが、それ以上に重要なのは生産面でのサポートです。トヨタは Joby のツール設計を支援し、工場のレイアウトについてもアドバイスを提供するほか、航空機に搭載する部品も供給してくれています。彼らは私たちにとって理想的なサポーターです。トヨタの経験と知識を活用できることは非常に幸運であり、彼らが私たちの成功にどれほど重要であったかは言葉では表現しきれません。

Joby の野望は決して小さなものではありません。私たちは世界を変え、人々の生活や旅行のあり方を革新したいと考えています。それは、トヨタが 87 年間にわたって成し遂げてきたことでもあります。Joby は、空の移動が当たり前の時代を待ち望んでおり、同時に環境への影響がより小さくなる世界も期待しています。

そして、大都市の渋滞を回避し、高速道路が整備されていない地域を結ぶことで、私たちにとって大切な人々や場所と多くの時間を過ごせる世界を心待ちにしています。

早ければ来年にも商業運行を開始する予定で、Uber、デルタ航空、ANA などの素晴らしいグローバルパートナーと協力しています。すでに日本の国交省航空局には、当社の航空機の認証取得を申請しています。日本において、クリーンで静か、かつ高速な移動手段を提供できる大きな可能性があるかと確信しています。また、この素晴らしい国、日本の驚異的な美しさを、日本の皆様や旅行者に新たな視点から見ていただきたいと考えています。

しかし、私の後ろに見える機体は、第一歩に過ぎません。私たちはまだやるべきことがたくさんあります。そして、未来がどうなるかを見る日が待ちきれません。

トヨタとともに、航空産業の次の黄金時代を迎えられることを楽しみにしています。トヨタ、そして今日の成功を可能にしたジョビー、トヨタのチームの皆さんの素晴らしいサポートと先見性に、心から感謝しています。ありがとうございました。

この歴史的な会を主催していただき、改めて感謝申し上げます。そして、トヨタの中嶋さんにマイクをお渡しします。